



株主のみなさまへ

第99期中間ご報告

2014年3月21日 ▶ 2014年9月20日



株式会社 安川電機

(証券コード：6506)

■ 株主のみなさまへ



株主のみなさまには平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第99期第2四半期連結累計期間（2014年3月21日から2014年9月20日まで）における当社グループの業績について概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、海外については、新興国においては景気に勢いを欠く状態が続いておりますが、米国では堅調な成長が見られ、中国も市場別では濃淡があるものの、全体としては緩やかに経済が拡大いたしました。

国内については、堅調な国内需要や輸出の増加による企業収益の改善を背景として設備投資が緩やかに上向くなど、回復傾向で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、海外を中心とした好調な市場に向け、拡販に注力してまいりました。主要セグメントでは、モーションコントロールにおいては日本、中国、アジアでスマートフォン関連の設備投資需要拡大を売上につなげ、ロボットにおいても自動車関連の市場拡大を的確に捉え、グローバルで堅調に推移いたしました。

また、開発力・生産力・販売力を継続的に進化させ、中期経営計画「Realize 100」の実現を確実なものとするため、2014年度を通じて以下の方針にそった諸施策を実行中です。

- コア事業の受注拡大
- 開発力・生産力・販売力の継続的進化による高収益体質実現
- 環境・エネルギー分野の事業拡大とヒューマンアシスト分野の事業化体制構築

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高1,939億23百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益149億20百万円(同18.1%増)、経常利益156億40百万円(同16.7%増)、四半期純利益116億92百万円(同61.1%増)となりました。

各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

セグメント別の業績

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
モーショントロール	907億2百万円 (10.2%増)	104億61百万円 (22.6%増)
ロボット	672億28百万円 (14.6%増)	57億56百万円 (19.3%増)
システムエンジニアリング	155億40百万円 (4.2%減)	△12億12百万円 (-)
その他	204億52百万円 (2.2%増)	4億47百万円 (40.7%増)

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は当初公表した業績予想数値を上回ったため、中間配当につきましては、当社グループの経営状況を総合的に勘案し、当初予想しておりました7円から8円に増額いたしました。

また、当社は2015年に創立100周年を迎えます。これもひとえに、株主のみなさまをはじめとする関係各位のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

つきましては、これまでの株主のみなさまのご支援にお応えするため、期末の1株当たりの配当予想は、中間配当同様に増額を予想しております普通配当8円に、創立100周年記念配当2円を加え、10円とすることといたしました。

この結果、1株当たりの年間配当予想は、前期比6円増配の18円となります。

当社グループは、不確実性の高い経営環境の中、グローバル企業としての高収益体質実現および将来の基幹事業の創出を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年11月

代表取締役会長兼社長



■ セグメント別の概況

モーションコントロール

ACサーボモータ・コントローラは、スマートフォンや自動車関連を中心に、国内および海外全般における販売が好調に推移いたしました。特に中国では、安川電機(瀋陽)有限公司の増産効果もあり、収益が大幅に伸長いたしました。

インバータは、汎用インバータが堅調に推移いたしました。太陽光発電用パワーコンディショナは好調だった前年同期に比べ低調に推移いたしました。

これらの結果、前年同期比で、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

主要製品

- ACサーボモータ
- 汎用インバータ
- 工作機械用AC主軸モータ
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- リニアモータ
- EV用モータドライブシステム
- 各種モータ制御装置
- 電源回生コンバータ
- マシンコントローラ
- マトリクスコンバータ
- ビジョンシステム



ロボット

溶接・ハンドリング・塗装ロボット等は、国内外の自動車関連分野を中心に堅調に推移いたしました。特に中国を中心に市場の拡大を確実に捉えるなど、海外での販売が大きく拡大いたしました。

この結果、前年同期比で、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

主要製品

- アーク溶接ロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空搬送ロボット
- スポット溶接ロボット
- ロボット周辺機器
- 塗装ロボット
- ロボット応用FAシステム
- ハンドリングロボット
- シーリング・切断ロボット
- バリ取り・研磨ロボット



システムエンジニアリング

鉄鋼プラント用電気システムおよび上下水道用電気システムが低調だったことにより、厳しい状況で推移いたしました。

主要製品

- 鉄鋼プラント用電気システム
- 上下水道用電気システム
- 各種産業用電気システム
- 高圧インバータ
- 高圧マトリクスコンバータ
- 産業用モータ・発電機
- 風力発電用コンバータ・発電機
- 小水力発電用発電機
- 車載用モータ
- 電力用配電機器
- 風力発電システム
- 太陽光発電システム
- エネルギー関連システム



その他

当セグメントには、情報関連事業および物流サービス等の事業が含まれております。

主要製品

- 情報関連製品
- 情報処理ソフトおよび付帯サービス
- OA機器
- 物流サービスほか



■ 新商品のご紹介

ACサーボドライブΣ-7シリーズ 全容量機種のラインアップ完了

2013年11月に製品化したΣ-7シリーズに4kW-15kWの容量機種を拡充いたしました。中規模装置の搬送機構や射出成形、金属加工等の高トルクが必要な用途にも適用できます。今回の拡充により、Σ-7シリーズは全容量機種(50W-15kW)のラインアップが完了しました。ACサーボドライブを必要とするあらゆる用途をカバーし、お客さまの装置性能の向上に貢献いたします。

主な用途

- 半導体・液晶製造装置
- 包装機
- 電子部品実装機
- ロボット
- 工作機械
- その他
- 金属加工機
- 一般産業用機械



業界初!クラウドを活用した新サービス 「MechatroCloud」をスタート

サービスの第1弾として、クラウドを通じてお客さまからお預かりしたパラメータ情報を製品出荷前に書き込み納入する「BTO(Built To Order)サービス」と、製品に貼付されている2次元バーコードから製品情報やトラブルシューティング情報等にアクセスできるスマートフォン用アプリケーション「SigmaTouch!」のサービスを開始いたしました。

簡単!小さい!低コスト!空圧機器の電動化に貢献

ACサーボドライブΣ-Sシリーズ

工場の搬送装置等に使用されている空圧機器は、ローコストな位置決め機器として広く利用されていますが、多くのエネルギーを熱として排出するため、省エネの観点から電動化のニーズが高まっています。

そこで当社は、空圧機器の置き換えに必要な性能・機能に絞り込むことで圧倒的な低コストを実現し、空圧機器の電動化に貢献するΣ-Sシリーズを開発いたしました。大幅な省エネはもちろん、優れた制御性能で装置の生産性を向上させることができます。

主な用途

- 医薬品や食料品等の検査・分析装置
- ロボットハンド
- 一般搬送装置



「高調波レス」「回生省エネ」を実現する次世代モータドライブ

マトリクスコンバータ

U1000

世界で初めてマトリクスコンバータ技術を応用した製品 Varispeed ACをフルモデルチェンジし、更なる進化を遂げたマトリクスコンバータU1000を開発いたしました。

インバータを用いたモータの可変速ドライブにおいて、電源高調波の抑制や回生電力の有効活用を行うには複数の周辺機器が必要ですが、U1000は1台でこれらの課題を解決することができます。これにより、省配線・省スペース化、エネルギーロスの低減に貢献します。各種アプリケーションに対応した機種を多数準備し、幅広い機械装置のニーズにお応えしてまいります。



主な用途

- 冷凍機械
- クレーン
- ビル空調
- エスカレータ

よりコンパクトに、より使いやすくフルモデルチェンジ

太陽光発電用パワーコンディショナ

Enewell-SOL (10 kW/9.9 kW)

Enewell-SOL(10kW/9.9kW)は、当社が提案するメガソーラー発電施設への分散設置、低圧連系用途に適したコンパクトなサイズを実現しました。また、容量以上の太陽電池を接続することが可能で、日射の多少にかかわらず発電量の最大化が実現できます。

更に、PV1000の高周波音低減タイプと同等の静音性能を有しているため、静かな住宅街や学校・病院等の公共施設への設置にも最適です。なお、10kWでは初となる新JET認証(多数台連系認証)を取得しており、系統連系協議の簡素化が可能です(単相機種のみ)。



主な用途

- 太陽光発電施設

■ 新商品のご紹介

ラインアップの拡充でより最適なロボットを選択可能

アーク溶接、スポット溶接、ハンドリング用途向け新形ロボット

アーク溶接、スポット溶接、ハンドリング用途向けロボットの機種を拡充いたしました。可搬質量のラインアップを見直したことで、お客さまがより最適なロボットを選択することができます。また、ロボットの高密度配置によるラインの短縮、サイクルタイム短縮による生産性の向上等に貢献し、高付加価値製造ラインを実現いたします。



アーク溶接ロボット
MOTOMAN-MA2010

可搬質量アップ、動作範囲拡大、
高速化を実現



スポット溶接ロボット
MOTOMAN-MS100

高速化と高密度配置を
更に極めたスポット溶接ロボット



ハンドリングロボット
MOTOMAN-MH24

高速でコンパクトな
24kg可搬ハンドリングロボット



ハンドリングロボット
MOTOMAN-MH110

高速で広い動作範囲を持つ
110kg可搬ハンドリングロボット

主な用途

- MOTOMAN-MA2010
自動車、機械関連部品等を主としたアーク溶接
- MOTOMAN-MS100
自動車業界向けのスポット溶接
- MOTOMAN-MH24
自動車関連部品、携帯電話、パソコン関連、
家電機器等を主とした各種ハンドリング・組み立て
- MOTOMAN-MH110
自動車関連部品、金属加工品等の
工程間搬送を主とした各種ハンドリング

更なる使いやすさと衛生管理のしやすさを極めてモデルチェンジ

高速ピッキング用途最適化ロボット

MOTOMAN-MPP3H

平行リンク機構採用のMOTOMAN-MPP3をモデルチェンジいたしました。クラス最速*の搬送速度と優れたアプリケーション対応能力を継承し、ダブルハンドを使用した高速搬送も可能です。

業界初*の中空ボディ構造により、ロボットの動作や周辺設備に制限されることなく配線・配管を簡素化できるため、作業性・信頼性の向上に貢献いたします。また、カバーで覆われていない関節部のグリースレス化を実現したことで、搬送物へのグリース落下の恐れがなくなり、衛生面も向上しています。

主な用途

- 食品・薬品・化粧品や部品等の小物製品の搬送・整列・箱詰め

*：当社調べ



バラ積み部品のピッキング作業を自動化

3Dビジョンパッケージ

MotoSight3D

製造ラインにおけるバラ積みピッキング作業の自動化に貢献する3Dビジョンセンサを開発いたしました。

従来は困難とされていた、油の付着した金属ワークや複雑形状のワークの認識ができるため、自動車部品に代表されるプレス部品等のピッキング作業が可能です。±0.5mm以内の精度で検出対象ワークを認識し、タクトタイムの短縮と付帯設備の簡略化に貢献します。また、検出対象ワークは3D CADデータの入力後、山積みにして5回撮像するだけで登録可能です。立ち上げ工数のコスト削減や品種追加も短時間で行うことができます。

主な用途

- バラ積みピッキング



The Switch Engineering Oy の株式取得 (子会社化) について

フィンランドの風力発電用電機品メーカー The Switch Engineering Oy (以下、スイッチ社) の全発行済株式を取得いたしました。

当社が得意とする高圧大容量ドライブとスイッチ社が得意とする低圧大容量ドライブにより、急成長が期待される風力発電設備市場において風力発電用電気品 (発電機・コンバータ) サプライヤとしての確固たる地位確立を目指します。今後は、当社とスイッチ社が得意とする技術を融合させた画期的な製品やソリューションを、風力や潮流発電をはじめ、船舶、インダストリー事業等へと提案し、事業領域を広げてまいります。



Solectria Renewables, LLC の持分取得 (孫会社化) について

米国における米州統括子会社である YASKAWA America Inc. を通じ、米国の太陽光発電用パワーコンディショナーメーカー Solectria Renewables, LLC (以下、ソレクトリア社) と持分売買契約を締結いたしました。

この買収により、当社は世界有数の規模および中長期的成長が見込める米国太陽光発電市場に参入します。当社が日本市場で展開する小・中容量帯パワーコンディショナーとソレクトリア社が強みを持つ大容量帯パワーコンディショナーの補完によって品揃えの充実を図り、米国太陽光発電市場の多様なニーズにお応えしてまいります。



子会社における資本業務提携および 子会社の異動 (株式の一部譲渡) について

当社の連結子会社である安川情報システム株式会社 (以下、安川情報システム) は、三井物産株式会社の100%子会社である三井物産企業投資株式会社 (以下、三井物産企業投資) と資本業務提携契約を締結いたしました。

また、当社が保有する安川情報システムの株式の一部を三井物産企業投資が管理運営する三井物産企業投資投資事業有限責任組合に譲渡いたしました。当該株式の一部譲渡に伴い、安川情報システムは当社の持分法適用の関連会社となります。

移乗アシスト装置

「ロボット介護推進プロジェクト」に採択決定

当社は、2013年度より経済産業省が推進する「ロボット介護機器開発・導入促進事業」に参加し、介護ベッドと車いす間の移乗をアシストする装置を2014年2月に開発しています。

2014年度も本開発事業に継続的に参加しており、当社の移乗アシスト装置が経済産業省と公益財団法人テクノエイド協会が実施している「ロボット介護推進プロジェクト」に採択されました。2014年度秋には北九州市内の介護施設に導入し、実証評価を行います。

なお、移乗アシスト装置の販売開始時期は2016年を予定しております。



歩行アシスト装置

「ReWalk 研究会」の発足について

脊髄損傷患者向け歩行アシスト装置ReWalkの2015年の本格販売開始に向けて、「ReWalk研究会」を発足しました。日本におけるReWalkの臨床応用・研究を促進し、病院や施設、個人での利用に向けた安全性の確保と使用効果の最大化を目的としています。

ReWalkは、歩行アシスト装置としては初めて米国食品医薬品局(FDA)の個人向け機器認可を取得し、個人が購入できるようになりました。日本でも個人向け販売に向けてトレーニング施設等の準備を進めています。

今後は認知度の向上を図りながら独占販売権を持つアジア5ヶ国(中国、韓国、台湾、シンガポール、タイ)への販売準備も加速してまいります。



■ 連結財務諸表

連結貸借対照表 (2014年9月20日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	245,237	流動負債	142,344
現金及び預金	23,849	支払手形及び買掛金	69,602
受取手形及び売掛金	112,687	短期借入金	27,684
商品及び製品	51,560	役員賞与引当金	36
仕掛品	10,961	その他	45,020
原材料及び貯蔵品	18,277	固定負債	60,099
その他	30,345	新株予約権付社債	15,000
貸倒引当金	△ 2,444	長期借入金	13,584
固定資産	111,159	退職給付引当金	23,460
有形固定資産	51,280	役員退職慰労引当金	155
無形固定資産	19,315	その他	7,897
投資その他の資産	40,563	負債合計	202,443
その他	40,877	純資産の部	
貸倒引当金	△ 313	株主資本	133,253
		資本金	23,062
		資本剰余金	18,689
		利益剰余金	91,980
		自己株式	△ 478
		その他包括利益累計額	16,409
		その他有価証券評価差額金	9,814
		為替換算調整勘定	6,595
		少数株主持分	4,290
		純資産合計	153,953
資産合計	356,397	負債純資産合計	356,397

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

自2014年3月21日 至2014年9月20日	
売上高	193,923
売上原価	133,431
売上総利益	60,491
販売費及び一般管理費	45,571
営業利益	14,920
営業外収益	1,273
受取利息	75
受取配当金	339
持分法による投資利益	55
為替差益	133
補助金収入	507
その他	161
営業外費用	553
支払利息	412
その他	141
経常利益	15,640
特別利益	630
固定資産売却益	107
投資有価証券売却益	83
関係会社株式売却益	439
特別損失	290
固定資産除売却損	62
投資有価証券評価損	0
退職給付制度終了損	225
その他	2
税金等調整前四半期純利益	15,979
法人税、住民税及び事業税	4,302
法人税等調整額	△ 40
少数株主損益調整前四半期純利益	11,717
少数株主利益	25
四半期純利益	11,692

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

自2014年3月21日 至2014年9月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	300
現金及び現金同等物の増減額	744
現金及び現金同等物の期首残高	22,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,737

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、3,563億97百万円(前連結会計年度末比158億91百万円増)となりました。

負債合計は、2,024億43百万円(同18億8百万円増)となりました。

純資産合計は、1,539億53百万円(同140億82百万円増)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は237億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億44百万円の増加となりました。

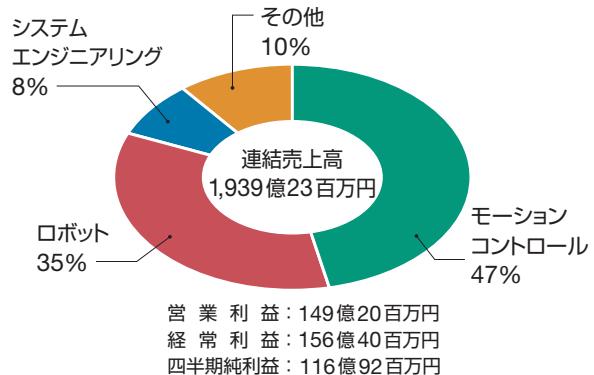
営業活動によるキャッシュ・フローは、113億92百万円の収入(前年同期比67億80百万円の収入減)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益159億79百万円、売上債権の増加45億3百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、97億98百万円の支出(同39億91百万円の支出増)となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出65億22百万円です。

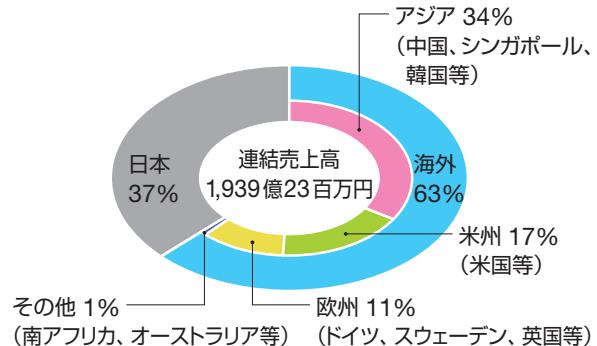
この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、15億93百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、11億49百万円の支出(同49億58百万円の支出減)となりました。主な内訳は、短期借入金の純増額28億37百万円、長期借入金の返済による支出25億26百万円、配当金の支払額15億11百万円です。

第99期 第2四半期累計 連結売上高構成比率



第99期 第2四半期累計 仕向地別売上高比率



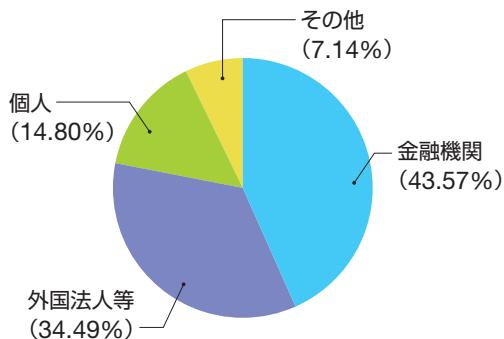
株式の状況 (2014年9月20日現在)

発行可能株式総数 560,000 千株
 発行済株式の総数 252,331 千株
 資本金 230億62百万円
 株主数 23,058 名

大株主(上位10名)	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,190 千株	6.82%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,076 千株	5.19%
株式会社みずほ銀行	8,100 千株	3.22%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,774 千株	3.09%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
SAJAP	6,150 千株	2.44%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	4,573 千株	1.82%
BNPパリバ証券株式会社	3,579 千株	1.42%
株式会社西日本シティ銀行	3,432 千株	1.36%

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

● 所有者別株式分布状況



役員 (2014年9月20日現在)

取締役

代表取締役会長兼社長 津田 純 嗣
 代表取締役副社長 宇佐見 昇
 代表取締役 専務執行役員 沢 俊 裕
 取締役 常務執行役員 小笠原 浩
 取締役 常務執行役員 村上 周二
 取締役 執行役員 中山 裕 二
 社外取締役 秋田 芳 樹

監査役

監査役(常勤) 下園 直 登
 監査役(常勤) 小田 昌 彦
 社外監査役 石丸 誠
 社外監査役 辰巳 和 正

執行役員

常務執行役員 扇 博 幸
 執行役員 南 善 勝
 執行役員 高宮 浩 一
 執行役員 野田 幸之輔
 執行役員 善家 充 彦
 執行役員 小川 昌 寛
 執行役員 吉田 一 昭
 執行役員 生山 武 史
 執行役員 今福 正 教
 執行役員 熊谷 彰

■ 会社の概要 (2014年9月20日現在)

商 号 株式会社安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

創 立 1915年7月16日

従 業 員 11,251名(連結) 2,734名(個別)

本 社	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号	電話(093)645-8801
東 京 支 社	〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー	電話(03)5402-4502
名古屋支店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 堀内ビル	電話(052)581-2761
大 阪 支 店	〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル	電話(06)6346-4500
九 州 支 店	〒810-0001 福岡市中央区天神一丁目6番8号 天神ツインビル	電話(092)714-5331
工 場 等	八幡西事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所	

主要関連会社

日本

- 株式会社ワイ・イー・データ
情報関連製品・サービス
(オプトメカトロニクス・情報セキュリティ・情報マルチメディア)
- 安川情報システム株式会社
情報の処理提供サービス・ソフトウェア開発ならびにシステム機器販売
- 安川コントロール株式会社
電気機械器具およびその部品の製造・販売
- 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備・試運転調整および技術指導
- 株式会社安川ロジステック
総合物流事業
- 安川モートル株式会社
電動機、発電機および電動機応用製品の設計・製造・販売・保全・整備
および調整
- 株式会社安川メカトロック
電気機械器具、その他各種機械器具の販売

欧州

- YASKAWA EUROPE GmbH (ドイツ)
インバータ、サーボモータ・制御装置ならびにロボットおよびロボット
システムの製造・販売・サービス
- YASKAWA NORDIC AB (スウェーデン)
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス

米州

- YASKAWA AMERICA, INC. (アメリカ)
インバータ、サーボモータ・制御装置ならびにロボットおよびロボット
システムの製造・販売・サービス

アジア

- YASKAWA ELECTRIC (CHINA) CO., LTD. (中国)
インバータ、サーボモータ・制御装置ならびにロボットおよびロボット
システムの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
インバータ、サーボモータ・制御装置ならびにロボットおよびロボット
システムの販売・サービス



安川電機 本社

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会	6月
(配当金受領株主確定日)	毎年3月20日(期末配当金) 毎年9月20日(中間配当金)
公告方法	電子公告により行い、インターネット上の当社のウェブサイト(http://www.yaskawa.co.jp/ir/)に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場金融商品取引所	東京・福岡
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株式事務に関するご案内

■ 未払配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。

※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■ 配当金支払い明細の発行

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴うお手続き等

証券会社に口座をお持ちの株主さま

口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま

(特別口座に記録されている株主さま)

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

※確定申告の際には、株式数比例配分方式以外の配当金受取方式を選択された株主さまについては、同封しております配当金計算書をご利用いただけます。

株式数比例配分方式を選択された株主さまについては、お取引の証券会社にご確認ください。

■ お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

(フリーダイヤル) **0120-288-324**